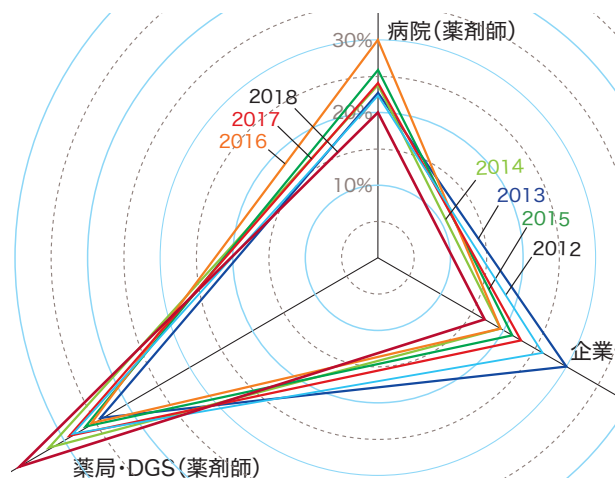


東京薬科大学

進路支援は、キャリアセンターが担当し、積極的な指導を行なっています。
就職に強い薬学部ですが、企業見学するアーリーエクスポージャーがなく
なるなど、大学のキャリア教育が少し変化しているようです。

また就職は、社会的な影響を受けやすい傾向があります。薬学部では、企業
就職が減少しています。病院も採用数が減少傾向です。調剤薬局やドラッグ
ストアは、業容拡大のために積極的に薬剤師を採用しています。2018年の就
職状況は、調剤薬局に就職した学生が30人増加して、パターンが少し変化し
ました。近年で最も難しい入試を突破した学生達ですから、製薬会社への就
職など能力的に問題ありません。調剤薬局に対する期待度が高まったのかも
しれません。

このデータ作成時点で、就職先のデータが得られていません。



2018年3月卒業生の就職先一覧

薬学科

薬学科の就職分野

年	卒業生	進学	研修生	就職希望	就職者	就職率	病院		薬局		DGS		企業		公務員	
2012	334	10	4	320	317	94.9%	71	22.2%	85	26.6%	68	21.3%	83	25.9%	10	3.1%
2013	375	7	5	363	358	95.5%	82	22.6%	86	23.7%	74	20.4%	108	29.8%	8	2.2%
2014	378	12	4	362	356	94.2%	85	23.5%	109	30.1%	81	22.4%	70	19.3%	11	3.0%
2015	412	10	3	399	386	93.7%	105	26.3%	121	30.3%	65	16.3%	85	21.3%	10	2.5%
2016	368	15	5	348	336	91.3%	103	29.6%	99	28.4%	59	17.0%	66	19.0%	9	2.6%
2017	419	15	2	402	391	93.3%	95	23.6%	116	28.9%	80	19.9%	90	22.4%	10	2.5%
2018	364	9	2	353	344	94.5%	69	19.5%	146	41.4%	63	17.8%	60	17.0%	6	1.7%

薬系進学の就職アンケートには、「就職・進学を希望せず」の項目がありますが、公平を期すため「就職希望者数」は、卒業生数から進学者と研修生を減じた数値としています。また2018年から、研修生を病院就職者に加えしました。レジデント(有給)が中心になり、採用を前提としたものに変化しているためです。

●医療機関・特定機能病院

●病院レジデント

●製薬・上位20社

●製薬・化学など

●CRO

●調剤薬局

●ドラッグストア

●医薬卸

●その他

●一般企業

●行政(公務員)